# 夢に向かって、羽ばたけ

ＰＴＡ会長　宮野　隆一

日頃より、PTA活動にご理解とご協力を頂いております保護者の皆様には心より感謝申し上げます。また、校長先生をはじめ教職員、同窓会、地域の皆様方には、日頃より子供達に対して温かく見守りや、時には厳しくご指導を賜り、多くのご厚情に感謝申し上げます。

我々PTAの目的は、家庭と学校のそれぞれが担っている役割を果たしつつ、子供達によりよい成長の機会をつくり上げ、健全に育成する事にあると言われております。長い人生の中で高校生活までが人生の土台固めの時期であり、いろんな意味でもっとも大きく成長するための準備期間でもあります。また、学力向上はもちろんですが、この時期に多くの出会いや経験をする事でこれからの人生における最も大切な「ソーシャルスキル」を身に付ける時期でもあります。本校の校訓「自立、創造」を生徒一人一人が実現し、豊かな感性と愛に溢れた人間力を身につけた人材になってくれるよう、PTAとしてこれからも応援し続けていきたいと思います。

この春からそれぞれの道を歩み、新たな一歩を踏み出そうとしている卒業生の皆さん、高校生活で学んだ3年間はどんな感じでしたか。決して楽しいことばかりではなく、苦しかったことや大変だったこと、失敗したことも多々あったことでしょう。しかし、皆さんが今ここにいるということは、どんな難関にも自らの力でプラスの方向へ乗り越えてこれたからだと思います。その経験を土台とし、次のステージで大きく羽ばたいてください。みなさんには、目指すべき大きな夢があるはずです。焦らず一歩一歩確実に、その夢に向かって自分の未来に突き進んでください。時には大きな壁にぶつかることもあるでしょう。そんなときは、花北青雲高校での3年間を思い出し、置かれた状況の中で何ができるのかを自ら考え、行動してほしいと思います。それでも困ったときには一人で考え込まずに、友人や家族、会社や進学先の先輩や同期、学校の恩師などに勇気をもって相談してみてください。みんな、君たちの相談に

のってくれるはずです。今後の活躍に期待しております。

保護者の皆様には日々の送迎やお弁当作り、PTA活動への参加など本当にお疲れ様でした。特にお弁当作りには頭を悩ませたことかと思います。子供達は毎日朝早くから工夫して作って頂いた愛情のこもった温かいお弁当を食べ、日々体も心も大きく成長したことと思います。高校生という世代は思春期でもあり直接言葉で感謝の気持ちを伝えられない難しい歳頃でもありますが、きっと保護者へ対する感謝の気持ちは心の奥にたくさん詰まっているのではと思います。そんな子供達の成長に私も卒業生の保護者の立場として頼もしさを感じております。皆様、3年間ご苦労様でした。

結びとなりますが、学校生活を支えてくださった全ての方々に、改めて感謝申し上げるとともに、花北青雲高校の益々の発展を祈念いたします。